

ふくちやまし

議会だより

2015

2



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■平成27年2月発行 No.102



希望ある明日に向かって!!

～新成人を祝福するマンボウジャズバンド～

成人式 平成27年1月11日

主な内容

12月定例会・1月臨時会の概要 2

一般質問(10人が登壇) 3～8

議会日誌 8

「4年制大学のあり方検討特別委員会」設置・
自由討議を始めました! 9

常任委員会の審査報告 10～11

請願の状況・3月定例会の予定 12

議員別議案賛否一覧表・討論 13

各委員会の活動報告 14～18

議会報告会 19

元気やで福知山!
「大江町毛原の棚田『Taikan』ツアー実行委員会」 20

■災害復旧・防災機能強化の補正予算 (20億381万円)を可決!

■国民健康保険新大江病院を福知山市民病院の 分院化にするための関連議案を可決!

■今後の4年制大学のあり方の検討・関連議案の 審査のために「4年制大学のあり方検討特別委 員会」を設置!

12月1日から22日までの22日間にわたって12月定例会を、1月14日に1月臨時会を開催しました。

12月定例会では、平成26年度一般会計補正予算など37議案が市長から提案されました。このうち、平成26年度一般会計補正予算(第6号)、市職員定数条例の改正、公の施設に係る指定管理者の指定など36議案は原案どおり可決しました。

なお、追加提案された平成26年度一般会計補正予算(第7号)の公立大学検討事業については、新たに設置した4年制大学のあり方検討特別委員会において、12月定例会では継続審査としました。その後、閉会中も同委員会でも審査を行い、1月臨時会で原案どおり可決しました。

また、平成26年の本会議の閉会にあたり来るべき年に向けて、奥藤議長は「新たな議会改革にチャレンジし、市民の皆さまに市議会の存在意義を示したい」と抱負を述べ、松山市長からは「福知山・未来創造 人と地域をつなぐ幸せの舞台づくりの年」と位置づけているとのあいさつがありました。

12月定例会で決まった主な案件

「平成26年8月豪雨」災害復旧の補正予算

◇農地・農業用施設の災害復旧	19億5369万円
◇林道の災害復旧	6億638万円
◇小規模治山事業・林地保全事業	1億6795万円
◇土木施設の災害復旧	6600万円
◇都市公園の災害復旧	9億4960万円
	1億6376万円

防災機能強化の補正予算

◇防災情報ライブカメラ整備事業	5011万円
◇災害に強い森づくり事業	961万円
	4050万円

その他の補正予算

◇通常の補正	5億4028万円
道路維持管理事業、農地中間管理事業、私立幼稚園就園奨励費補助事業など	5227万円
◇人件費の補正	2億2239万円
給与改定、災害に係る超過勤務手当など	
◇繰出金、特別会計・企業会計の補正	2億6562万円
介護保険事業運営に係る一般会計からの繰出金、国民健康保険事業、介護保険事業、病院事業の補正	

条例の新規制定・一部改正・廃止

- 新規制定(2件)、一部改正(9件)、廃止(1件)

その他

- 工事請負契約の締結(1件)
- 公の施設に係る指定管理者の指定(10件)、土地改良事業の施行(1件)など

人 事

- 下夜久野地区財産区管理会委員の選任(5名)、人権擁護委員の候補者の推薦(1名)

1月臨時会で決まった案件

公立大学検討事業の補正予算

845万円

12月定例会

ここが聞きたい！

一般質問



各会派から10議員が質問に登壇！

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

●質問議員●

1. 維新福知山 高橋 正樹 議員
2. 福知山未来の会 田中 法男 議員
3. 公明党市会議員団 足立 伸一 議員
4. 福政会 野田 勝康 議員
5. 希望の会 藤田 守 議員
6. 日本共産党市会議員団 吉見 純男 議員
7. 無会派 稲垣 司郎 議員
8. 福知山未来の会 芦田 眞弘 議員
9. 福知山未来の会 森下 賢司 議員
10. 福政会 木戸 正隆 議員

※所属会派は1月末現在



維新福知山

高橋 正樹 議員

福知山市における『地方創生』とは

問 福知山市においても、平成40年には、人口が6万人台に落ち込むとの推計が示されている。また、水害への恐怖から、よそへ移り住もうと考えていると訴える市民の声が多い。人口減

少という大きな課題を『地方創生』という視点で、どう捉えるのか。

答 安心安全は最低条件であり、子育て・教育などの付加価値を加えることで、定住促進につなげたい。

問 一方で、e・ふくちやまのように、継続的に赤字を計上するような事業をいつたん始めてしまえば、撤退や方向転換が難しくなるが。

答 事業を見直すことも活性化の要因につながると考えている。(市長公室長)

成美大学の公立化を求める署名の有効性について

問 議会が厳正に審議することを目指すに、「4年制大学のあり方調査研究委員会」を議員で構成している。

答 議会が厳正に審議することを目指すに、「4年制大学のあり方調査研究委員会」を議員で構成している。署名簿の閲覧を申し出たが、拒絶された。なぜなのか。

問 署名簿を提出された団体から「公表は避けてほしい」と依頼があった。また、個人情報でもある。

答 市は人数確認をしたの

市が示した公立化の試算では多額の累積赤字を計上

問 か。また、市民アンケートにも、「収支不足が生じた場合は市の税金で補てんすることに」と明記されている。市民の意向は重要だと思いが、福知山市民の人数内訳はどれくらいか。

答 人数については、団体の報告によるもので、市は確認していない。ちらっと見たが、市民の方の署名は半分近くあると考えている。

問 大学の試算では経営安定化に至るまでの間、収支不足が発生するということだ。なお大規模改修など、試算に含まれない費用も想定され、大学の設置する場合は十分な市民理解が得られるのかという課題がある。

有識者会議は厳しい意見に終始

問 9月議会で、「市の考え方を有識者会議に委ね、方針を出していきたい」と繰り返し答弁があったが。

答 市の考え方は、あくまでも白紙だ。(市長公室長)



4年制大学のあり方に関する有識者会議の様相



福知山未来の会

田中 法男 議員

由良川中流部の河川改修の動向

問 台風18号被災から一年経つが由良川改修のこの一年間の行動の総括は。

答 国会議員、国交省、府知事に精力的に要望活動を行い、大幅な前倒しで河川整備の実施となった。これ

を受けて本市も用地取得スタッフを増やし体制強化を行った。
(市長)

問 河道掘削の考え方は。

答 現在、国交省で効果的な河道の計画を検討しており、測量調査をしたうえで用地買収、工事着手になると聞いている。

問 府管理河川の状況は。

答 相長川は関連する橋梁工事を施工中。大谷川はJR下ボックス部分の予備設計を発注。大砂利川は由良川改修、圃場整備の計画と



改修着工の相長川

調整中。
(土木建設部長)

地籍調査事業の進捗状況と課題

問 ほとんど実施されていない京都府で先駆的に取り組もうとする考え方は。

答 約30年かけて過去に実施した地域も含め、本市全域の地籍調査を実施することとした。
(市長)

問 本市の状況と課題は。

答 一番目に観音寺・興地区を選び平成24年度から取り組んでいる。筆数が多く権利者の特定と境界の確定に時間を要する。

問 課題解決の方策は。

答 地元の代表である推進委員とともに調査や立会いを進めていくもので市民協働事業といえる。推進委員の協力が不可欠である。

問 事業完了地区には新たな施策を考えるべきだが。

答 土地登記手続きが簡素

化され公共事業が効率化するため、地域の活性化につながる新たな事業展開を検討したい。
(土木建設部長)

松山市長2期目の前半期の思いと後半期への決意

問 「市民と真ん中政策」の進捗状況と課題、そして今後に向けた政策展開は。

答 市民目線を生かした事業では公開事業レビューなどがあり、行政サービス向上では総合案内窓口の設置などがある。今後も行財政

基盤の強化を図りながら次の10年を見据え、市民満足度の高い施策を展開していく。市民の思いをしっかりと受けとめ、行政がどう変わるかが鍵である。
(市長)

問 公開事業レビューの手法と窓口対応の配慮とは。

答 公開事業レビューの実施趣旨は市民に市政への理解を深めてもらうことにある。各窓口では気軽に相談できる体制で安心窓口の構築を図っている。
(市長公室長)



公明党市会議員団

足立 伸一 議員

将来のための介護人材確保対策は

問 2025年以後は75歳以上が4人に1人という超高齢化社会が来る。介護に携わる人が不足するのではないか。介護報酬のアップを求めていくことは当然として、サービス低下を生ま

ないために、市は人材不足にどう備えていくのか。

答 施設によっては人材が足りないところもある。資格取得など、スキル向上で質の転換を図ることが、量の問題克服に重要と思う。

生活支援の場ではNPOなどと協力し、受け皿を広げ充実させる必要がある。民間社会福祉施設連絡協議会の研修の充実や将来を見すえ高校での介護ビデオによる啓発活動などを行っている。今後も若者へのアピー

災害と森林の適正管理について

問 治水対策には遠回りと見えても森林保水力の回復がますます重要になってきた。間伐の推進にはスピードアップが必要だ。また行政と林家や地域とのパイプが細く対策は滞りがちだが、どう打開するのか。森林データ管理の一元化も必要で

ないのか。
(市長・福祉保健部長)

はないのか。

答 保水力向上には森林整備を進めていくしかないと考えているが、よりスピードアップするには作業員の確保や地域の理解が必要であり、補助制度の周知に努める。森林所有者へ情報が届きにくいのも事実なので府や森林組合と連携して対応する。また、森林整備推進には基礎データは不可欠なので多種のデータを収集し一括管理できるよう努める。
(農林商工部長)

直交集成材(CLT)について

問 森林整備は林家にとって利益がなければ現実には進まない。木材利用の王道ではないが、間伐材を直交集成材として活用することは一つの有効な出口対策でもある。検討してみては。

答 ヨーロッパでは急速に普及していることは承知している。検討を進めていきたい。
(農林商工部長)

環境対策の一環としてのエコカー導入は

問 電気自動車についての市の考えは。

答 環境対策としてCO2削減は重要。そのためにエコカーの公用車への導入など積極的に普及に努めていきたい。
(環境政策室長)



夜久野のエイドステーション



福政会

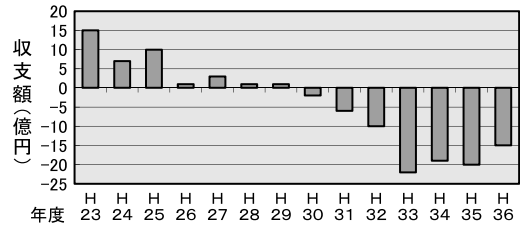
野田 勝康 議員

福知山市の 中期財政見通しは

問 平成31年からの財政シミュレーションでは扶助費を毎年1・4%の増、投資的経費を毎年30億円と見込んで赤字額を算出している。しかし、扶助費3%増、投資的経費50億円との予想も

しているが、今後の対応をどのように考えているか。

扶助費3%・投資50億円の場合の収支推移



答 「入るを量りて出ずるを制す」と言うように、今後においては、歳入に見合った投資的経費に注視し、扶助費1・4%増、毎年投資的経費30億円に抑える努力をしていきたい。

e・ふくちやま 事業は

問 「e・ふくちやま事業」のあり方懇談会の報告書で、現状のままでは平成40年までで累積赤字が約80億円になると予測している。テレ

ビ・インターネットを民営化するにしても約30億円の赤字となると試算しているが、この算出根拠は何か。

答 合併特例債の地方交付税措置分の歳入が20億円。特例債の償還30億円、それに機器更新費や運営費が20億円で歳出合計が50億円となる。そこで、差し引き約30億円の累積赤字を予測している。

問 民営化した場合、約30億円の合併特例債の償還が必要と思うが、その財源は

何か。

答 当然、事業がなくなれば、財源であった特例債の一括償還を行わなければならない。財源は「減債基金」などの一般財源で充当する。

来年度の予算編成 の考え方は

問 地方財政計画も国から出ていないが、平成27年度の本市の予算編成の基本的な考え方は。

答 「活力・安心・市民協働」を基本におき、合併10

年目を一つの節目とし、「弾力的な財政運営」が必要と考える。平成28年度から始まる「地方交付税の一本算定」を視野に入れ、危機感を持ちながら、人口減少社会と、高齢化対策が本市の重要課題である。「市民と真ん中」の考え方を基に、歳入に見合った歳出予算を編成していきたい。

(市長)



希望の会

藤田 守 議員

防災対策の 連携強化を

問 8月豪雨では、地区担当職員と自治会長の間で情報共有が図られていたのか。

答 急遽、家屋の裏山などの崩落危険箇所の調査を全自治会長へ依頼した。そして、地区担当職員が自治会

長宅を訪問して、被害の把握と応急対応に努めた。

問 自主防災活動の状況は。

答 市内327自治会の内230自治会で自主防災組織があり、組織率は70・3%である。今後、避難所の検討なども含め自主防災組織の設置促進や活性化に向けて取り組んでいきたい。

(市長・総務部長・危機管理室長)

少子高齢化に伴う 地域活性化対策は

問 「田舎力甲子園」の成

果は反映されているか。

答 全国の高校生から地域活性化策を募るコンテストが成美大学で開催され、農山漁村が抱える課題を解決する策が募集された。住民自ら住み良い地域づくりに取り組むことが重要であり、地域資源の活用や行政施策にも共通するもので反映を図りたい。

児童などに対する 安全安心確保対策

問 新規設立予定の放課後児童クラブの準備と充実は。

答 放課後児童クラブを「新しい地域」と位置付けて未来の福知山を担う子どもたちを育てていくものである。施設整備などと指導の質の向上を図り、量と質の両面での充実を図りたい。

問 通学路安全推進会議の合同点検結果は。

答 平成26年10月末に、行政・警察・学校・自治会代表者らで組織された通学路安全推進会議が、通学路の危険箇所194件全てで合同点検を行った。各学校か



小中学校の通学路（中六人部）

雇用の確保対策を

問 就職フェスタの成果や雇用情勢は。

答 就職フェスタには、就職希望者97人が訪れた。平成26年9月末の有効求人倍率は1・30であり、前年同月より0・12ポイント上昇し雇用情勢は改善が進んでいる。福祉・建設関連などは3倍から4倍と有効求人倍率は高い。しかし、事務的職業や生産工程の職業は、0・3倍から0・4倍と低い。

(農林商工部長)



日本共産党市会議員団
吉見 純男 議員

子どもの医療費を 窓口負担無料に

問 京都府知事は、府議会で協議が整えば平成27年9月から子どもの医療費助成対象を中学卒業まで拡充することを表明された。本市としても府制度拡充によって生まれる財源を活用して、

中学卒業までの医療費を完全無料化すべきだが。

答 中学卒業まで窓口負担なしの完全無料化とした場合、市の負担増は3428万円となる。平成27年4月より始まる「子ども・子育て支援新制度」で、新たなサービスが予定されていることから、新制度の財源や府・他自治体の動向を注視しながら、安定的、継続的な子育て支援制度として検討していく。

(福祉保健部長)

「e-ふくちやま」 事業見直しは

問 見直しの方向は。

答 これまでの事業成果を踏まえ、将来にわたって持続可能で安定した利用者サービスを提供することが大事である。急速に充実する情報通信環境に適切に対応するためには事業の見直しが必要である。今後「e-ふくちやま事業のあり方懇談会」の報告書を十分尊重しながら、市の方針を決定していく。

(市長)

問 事業スケジュールは。完全移行に3年程度かかる。

答 平成27年度に民間事業者を決定した後、平成30年度を最終目標として移行に向けた調整・協議のなかで、具体的スケジュールを決定していきたい。(総務部長)

大学公立化は 府主管で

問 今後の検討事業スケジュールは。

答 有識者会議としても市の考え方が明確でないので



公立化の是非が問われる
成美大学

の是非そのものの議論がしにくいと考えている。

問 京都北部および北近畿の4年制大学と位置付けるなら府が主管する大学として検討すべきでないか。

答 仮に公立化が図れる場合、北近畿唯一の4年制大学という趣旨を踏まえて近隣の市町、府との連携は当然と考えている。市の方針が決まった段階で、協力を呼び掛けていくのが筋と考えている。(市長公室長)



無会派
稲垣 司郎 議員

8月豪雨災害 について

問 市民から「今回の水害は人災だ」との声を多く聞く、市の受けとめ方は。

答 国交省は「最大雨量90mmで今回の浸水被害は局地的、集中的で激甚な豪雨が主な原因だ」と分析結果を

報告された。市としても妥当だと考えている。(市長)

問 議会でも再三にわたって全国的に多発しているゲリラ豪雨について質問をしてきた。ゆらのガーデンは昨年に続き浸水した。その尊い教訓は生かされたか。

答 浸水を防げなかったのは、過去最大の記録的豪雨のためであった。今後の対策を現在、国・府・市の三者が協議している。

問 内水対策として、総額約22億円を投じ、建設した

貯留施設6力所の効果は。

答 施設は市街地の貯留能力を越え満水であったためその分水量は軽減できたと思う。(上下水道部長)

問 弘法川の上流には圃場整備された水田が68haある。田圃ダムならha当たり10cm溜めれば6万8000tの

出水が防げ、さらに人工林が1400haあるので、間伐などの森林整備が進めばかなりの出水も防げる。

理解し難いのは浸水地域に指定した所へ学校給食セ



学校給食センター
付近の様子

ンターを建てたことである。「行政の本分は、住民の生命財産を守ること」である。

44年前の総理大臣は「人の命は地球より重し」と決断し多くの人命を守った。市長の見解を問う。

答 昨年は由良川の水位が基準値を越えたため、内水排除のポンプを停止させ、その結果冠水した。

合併後の施策 について

今回はポンプが作動するなかで急激なゲリラ豪雨が発生し、一気に内水が増水した。今後は早期に情報を得て適切な対応をしたい。(危機管理室長)

問 国から保障された一般財源の8年間分を旧1市3町一人当たりに換算して旧市と比較すると、旧3町は

実に314億円多く保障されている。6月議会で「公正で公平な行財政運営が図

られてきたか」の問いに「将来の行財政施策面で、圧迫しない健全で安定的な運営や、広域化により大型事業の整備など地域全体の均衡ある発展が実現可能になった」と答弁されたが本気で均衡ある発展が図られてきたと思っているのか。

答 前から周辺部が良くならないと本市の発展はないと言ってきた。旧3町には早く予算を付けて新市が一体となった新市計画を進めていきたい。(市長)



福知山未来の会

芦田 眞弘 議員

男女共同参画センター設置について

問 設置スケジュールは。

答 現在改修中の市民会館の3階に設置予定で、平成27年8月の開設を目指している。

問 どのような事業を目的に設置するのか。

答 男女共同参画社会の実現に向け、①保護・救済②教育・啓発③交流・協働の三つの柱を掲げ、事業展開をしていきたい。

問 センター設置により、従来の取り組みをさらに加速化すべきと考えるが。

答 DVやセクハラなど専門相談体制を充実させ、関係機関とのネットワークを強化し、悩みを抱えた人に寄り添った相談事業の充実を力を入れていく。

(人権推進室長)

教育委員会行政を問う

問 研究指定を受けた小中学校の取り組み状況は。

答 主なものとして、文科省の指定では、日新中のスーパー食育スクール事業、府教委の指定では、雀部小・六人部中の「学力向上システム開発校」、成仁小・成和中の「土



スーパー食育スクール指定校の看板

曜日を活用した教育のあり方実践研究事業」がある。

問 本市における「いじめ防止」の取り組みは。

答 いじめ根絶対策事業として人権ワークショップ研修、いじめ防止講演会の開催、いじめ防止強調月間の設定などがある。

問 ネットトラブルが多いが、全市的に啓発しては。

答 講演会の実施など啓発を行っている。宣言やガイドラインなどを検討することも一つの策だと考える。

海の京都および森の京都について

(教育委員会理事)

問 海フェスタ京都の効果はどのようなものか。

答 12の事業を展開することにより、約9000人の方が来福された。

問 平成27年度以降の取り組みはどのようなものか。

答 人とモノの流れが大きく変わる可能性がある。事業を全国発信する絶好の機会と捉え、平成27年度をターゲットイヤーと位置づける。

今後5年間でこの地域をブランド観光地域に仕上げていくこととしている。事業参加することで、お城とスイーツと大江山を引き続き発信していく。

(地域振興部長)

問 森の京都への動きは。

答 丹後天橋立大江山国立公園エンジンプログラムを平成26年7月に策定した。森の京都構想に位置づけていただけるよう現在、京都府と調整しているところである。

(農林商工部長)



福知山未来の会

森下 賢司 議員

少子化や人口減少への対策は

問 全国的に若年女性の減少が危惧されているが、本市はどう認識しているか。

答 強い危機感を持っている。若い世代をどう留まらせるか、教育・就労などあらゆる面から環境整備を図

る必要がある。

問 婚活イベントなどの支援の現状と今後の方向性は。

答 「街コンイベント」主催団体などに補助金支援している。若い世代が主体的に実施する婚活促進事業を今後も支援していきたい。

問 対策窓口の一元化や、全庁的なプロジェクトは考えられないか。

答 全部署の横断的取り組みが必要だ。縦割り行政の弊害をなくし、全部署が少子化対策に取り組む姿勢で

対応していきたい。(市長・地域振興部長・市長公室長)

自助・共助の考えを推進するために

問 自主防災組織への支援体制や助言・指導の現状は。

答 設置費補助や運営費補助がある。組織間相互連携や情報共有も必要で、そのような場の設置も考えたい。

問 地域に起こりうる災害を具体的にイメージする訓練の導入を進められないか。

答 「災害図上訓練」は大変重要。多くの自主防災組

織への普及に努めたい。

問 広域避難所の見直しの考えはないか。

答 現在、広域避難所の再編も含めて開設・運営の検討を進行中。地元と協議し、出水期までに見直しを終えたい。

スポーツに親しみ健やかな体づくり

問 スポーツ推進委員の果たす役割は何か。

答 現在22名。市民の幅広いスポーツ活動の支援や指導・助言などで活躍いた

っている。現地指導では参加者からも好評をいただいている。

問 健康増進という視点での運動の推進・啓発状況は。

答 健康教室や健康増進イベントで、体操や運動のきっかけづくりをしている。「一日あと千歩増やそう」の考えで健康ウォーキング教室も開催している。

問 第三種公認陸上競技場整備に向けての動きは。

答 三段池公園の府北部地域のスポーツ施設拠点化や、



スポーツ施設の充実が望まれる三段池公園

第三種公認陸上競技場の建設を府へ要望してきた。スポーツ振興の上で、三段池公園へのスポーツ施設集約が重要だ。今後「福知山三段池総合運動公園マスタープラン」を策定する中で検討していきたい。(地域振興

部長・健康推進室長)



福政会

木戸 正隆 議員



廃校となる川合小学校

川合、細見、両校の統廃合は

問 統合に向けて、両小学校の交流状況と、児童、保護者の心のケアは。

答 統廃合に向けて、川合、細見両小学校の児童、保護者相互の親睦を図るため両校の児童が机を並べて一緒

に授業を受けている。保護者もその様子を参観し、学級集会や学校説明会にも参加し親睦を深めている。心のケアは川合、細見小学校の連携教育の取り組みで児童、保護者相互の絆は着実に強くなっている。

(教育部長)

問 川合小学校の跡地利用に特別養護老人ホームの建設などについて。

答 特別養護老人ホームを含む高齢者福祉施設の整備に限らず、さまざまな観点から検討する必要がある。

(福祉保健部長)

菟原下定住促進整備事業などを問う

問 工事の進捗状況、活用方法、事業効果などを問う。

答 今後は平成28年度分譲に向けて事業を進め、活用方法については住宅用地と

して、工業団地で働く人や、U・J・Iターンの若者に分譲する計画である。菟原中住宅団地5区画が完売し子育て世代が定住している。

新たな定住促進住宅用地の開発により、三和地域の活性化につながり、子どもや若者が減少する中、事業効果は地元の期待度と合わせて大きいものと考えている。

(地域振興部長)

アネックス京都三和について

問 企業へのアピール方法

の取り組みは。

答 今後は、KBS京都のテレビを利用し、有効な企業へのアピールやアネックス京都三和、長田野工業団地、綾部工業団地と連携し「産業集積地福知山」を企業へアピールしていく。

問 地元雇用の掘り起こしの取り組みは。

答 就職フェスタや、地元高校との懇談会などを実施し、企業が求める製造技術者や物流サービスなどの希望人材を伝え、求職者が希

望する職業に就けるよう掘り起しをしたいと考えている。

三和地域活性化事業は

問 給食センター予定地跡の活用と特産品開発は。

答 現在、丹波みわ活性化協議会が、三和地域を活性化させるために計画を立案し実施すべく活動している。活用方法や特産品開発までには至っていない状況である。

(市長)

議会日誌

11月～1月

11月

5日 全国市議会議長会第97回評議員会
京都府亀岡市議会行
政視察
7日 近畿地方治水大会
議員研修会
11日 長崎県大村市議会行
政視察
12日 福井県大野市議会行
政視察
13日 市民厚生委員会管内
視察
14日 広島県三原市議会行

政視察

18日 総務委員会管内視察
19日 市民厚生委員会管内
視察
20日 福知山市における4
年制大学のあり方調
査研究委員会

20日 議会改革検討会議
議員報酬等検討委員
会
21日 委員長会議
25日 由良川改修促進特別
委員会管内視察
議会運営委員会

26日 文教建設委員会管内
視察
27日 経済委員会要望活動
文教建設委員会管内
視察
28日 福知山市における4
年制大学のあり方調
査研究委員会
各派幹事会
議会報告会
29日 議会報告会
12月

12月

1日 12月定例会本会議
全議員協議会
2日 議会改革検討会議
議会運営委員会
3日 広報広聴委員会
4日 議会改革検討会議

10日 12月定例会本会議
11日 12月定例会本会議
各派幹事会
各常任委員会
総務委員会
16日 福知山市における4
年制大学のあり方調
査研究委員会
全議員協議会
各派幹事会
議会運営委員会
議会改革検討会議
12月定例会本会議
19日 議会改革検討会議
4年制大学のあり方
検討特別委員会
12月定例会本会議
全議員協議会

22日 12月定例会本会議
全議員協議会

1月

25日 議会運営委員会
4年制大学のあり方
検討特別委員会
6日 広報広聴委員会
4年制大学のあり方
検討特別委員会
8日 全議員協議会
議会運営委員会
各派幹事会
9日 市民厚生委員会
13日 広報広聴委員会
14日 1月臨時会本会議
議会運営委員会
19日 委員長会議
4年制大学のあり方
検討特別委員会
各派幹事会

20日

20日 議会運営委員会
4年制大学のあり方
検討特別委員会
22日 京都府市議会議長会
愛知県額田郡幸田町
行政視察
23日 近畿市議会議長会第
3回理事會
26日 議会運営委員会
議会改革検討会議
茨城県ひたちなか市
行政視察
27日 静岡県島田市行政視
察
28日 愛知県稲沢市・岐阜
県土岐市行政視察
30日 4年制大学のあり方
検討特別委員会

「4年制大学のあり方検討特別委員会」を設置

委員長 野田 勝康
副委員長 高橋 正樹
委員

稲垣 司郎・芦田 眞弘
足立 伸一・桐村 一彦
塩見卯太郎

市議会は、福知山市における今後の4年制大学のあり方を市議会として独自に検討するため「4年制大学のあり方検討特別委員会」を設置した。平成26年9月に調査・研究の場として設置した任意の委員会、「福知山市における4年制大学

のあり方調査研究委員会」を発展させ議会設置としたもので、12月定例会に追加提案された「公立大学検討事業」にかかる補正予算の審査に当たった。

補正予算の内容は、市が有識者会議の提言に基づき、大学の基本構想を作成するためのもので、当委員会では本議案を継続審査とし、12月19日、12月25日、1月6日に委員会で審査した結果、付帯決議を付して全委員賛成で可決した。

また、付帯決議と同じ内

公立大学検討事業に関する決議

「4年制大学のあり方に関する有識者会議」の提言を受け、福知山市における大学のあるべき具体像を構築するための調査・検討経費として、本件補正予算に計上された「公立大学検討事業(以下「事業」という。)」の執行においては、以下の点に十分留意し履行されるよう強く求める。

- 1 将来にわたって時代の要請と地域の期待に応えることを見据えて、速やかに大学の教務・財務・運営の内容を検討し、一つの選択肢である公立大学の必要性の是非を判断できる具体像を示すこと。
- 2 大学が安定した経営基盤を確立できること及び本市が持続可能な財政運営を堅持できることの双方が、客観的かつ合理的に理解できるしっかりとした根拠資料に基づく財政シミュレーションを示すこと。
- 3 北近畿地方唯一の4年制大学という存在意義をしっかりと認識し、大学の設置・運営にあたっては、国・京都府、近隣自治体からの協力・支援が得られる方策を示すこと。
- 4 事業を執行するために立ち上げた庁内プロジェクトは、十分な人員体制を確保し議論・検討を深め、今回構築する具体像の中で市の責任を明確にすること。
- 5 「(仮称)公立大学検討会議(以下「会議」という。)」は、透明性を高めるため公開とし、資料及び会議録を速やかに全て市民に公表すること。
- 6 「会議」及び本市の検討経過は、逐一、市議会に報告するとともに、大学のあるべき具体像を構築する過程においては、市民や市議会の意見を十分に斟酌すること。以上、決議する。

平成27年1月14日

自由討議を始めました!

～議員間の討議を活発化し、積極的に政策提言を～

市議会では、議会改革の一環として、平成26年12月から常任委員会において自由討議を導入しました。

自由討議とは

市政全般や個々の政策に対して、議員が賛成、反対の意思表示をすることに留まらず、議員間の討議を活発に行うことにより、議論の一致点や対立する論点を明確にし、議員一人ひとりの考え方や審査過程を広く市民に発信することを目的としています。

また、討議により一致した意見をもとに、議員間の合意形成を図り、市政に対して政策提言をするなど、議会の政策立案能力を高めます。

12月定例会中の常任委員会の自由討議

総務委員会

・公の施設に係る指定管理者の指定について

旧3町の施設の指定管理者による施設運営のあり方などを討議

市民厚生委員会

・福知山市指定介護予防支援等の事業について
指定介護予防支援事業所

経済委員会

・災害に強い森づくり事業について

8月豪雨により被災した山腹の治山工事や今後の土砂流出などの防止策などを討議

文教建設委員会

・教育予算の増額、保護者負担の軽減、教職員の増員を求める請願について

市民から提出された請願趣旨についての討議

市議会の議会基本条例では、市民に開かれた議会をめざし、議会の活性化を図るために、①情報公開の推進②市民参加の推進③議員間自由討議の推進を重要なテーマとしています。

自由討議は、まだ導入して間もないですが、今後さらには討議内容の質を向上させ、議会から市政の問題点や解決策を提案することにつなげたいと思っています。

12月定例会 各常任委員会審査報告

総務

財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例
公の施設に係る指定管理者の指定

主な議案審査

平成26年度一般会計補正
予算(第6号)ほか11議案

**福知山市財産の交換、譲与、
無償貸付等に関する条例の
一部を改正する条例の
制定について**

問 市の自治会などで認可を受けた地縁団体の数、対象物件の数、また、条例改正後の地域への周知方法は、
答 認可されている地縁団体は、平成26年4月の時点で101団体、実質地元財産と思われるものは、税務課の土地台帳から、名義人が165団体、土地が1631筆、建物が41物件と把握している。周知については、市の広報や自治会長会および公共施設マネジメンの説明の中で十分に行っていくきたい。

新福知山市まちづくり計画(新市建設計画)の変更について

問 合併特別債の発行期限が5年間延長されたが、今後の基本的な事業推進のあり方は。

答 総合計画の着実な実施と、アセットマネジメントの推進により、事業の選択と集中を徹底する。有利な財源である合併特別債は、市民生活の「質」の向上につながる有効な事業に活用したい。

公の施設に係る指定管理者の指定について

問 指定管理者制度の開始以来、指定管理料が上昇傾向にある理由は。

答 制度開始後10年が経過し、経済情勢の変化、設備の老朽化に伴う修繕費などの増加により、指定管理料の見直しを行ってきたためだ。



4月から新たな経営体制となる「三和荘」

問 三和荘の指定管理者「三和荘運営共同体」とは、また、今後の運営形態は。

答 市内の特定非営利活動法人と民間グループが共同で経営にあたる。従来の地域に密着した運営を踏襲しながら、レストランや宿泊の分野では、より専門的な民間の経営ノウハウを生かした運営により、さらなる集客増と健全経営につながることを期待している。
(すべて全員賛成で可決)

市民厚生

要支援1・2の介護サービスが市に移管
スタートは平成29年4月

主な議案審査

条例の一部改正

**福知山市病院事業設置に
関する条例の一部改正**

「国保新大江病院」が「市立福知山市市民病院大江分院」に変更される。

診療科目は内科・小児科・リハビリテーション科。

問 常勤医師は何人か。24時間365日の診察対応か。

答 医師は5人。診察対応については検討中だ。

**廃棄物の処理及び清掃に
関する条例の一部改正**

市の処理施設への5kg以下の持ち込みは無料だったが、有料となる。

問 5kg以下の搬入件数はどれくらいか。制度変更の周知方法は。

答 年間約1000件だ。周知は広報や市ホームページで行う。

条例の制定

**指定介護予防支援等の事業に
関する基準を定める
条例**

問 従うべき基準などは従来と比べて変わるか。

答 内容はこれまでと変わらないが、市の責任で設定していく。

**地域包括支援センターの
事業基準を定める条例**



地域サロンで介護予防

問 現在とどう変わるのか。

答 基準はこれまでと変わらないが、中央包括支援センターやサブセンターの運営の在り方などが今後、協議される。

指定管理者の指定

○総合福祉会館
管理者／社会福祉協議会
期間／平成27～32年度
管理料(年額)
1913万5000円

○夜久野ふれあいの里福祉センター等及び夜久野ふれあいの里ミニデイサービスセンター
管理者／仙人福祉事業会
期間／平成27～29年度
管理料(年額)／796万円

○大江町老人福祉センター
管理者／社会福祉協議会
期間／平成27～29年度
管理料(年額)／434万円

問 なぜ指定管理の応募がそれぞれ1団体なのか。応募者を集め市場原理を働かせるべきだ。

答 市ホームページで周知し、22日間の公募期間を設けたが応募はそれぞれ1団体だった。
(すべて全員賛成で可決)

経済

平成26年度の補正予算
ほか4議案を可決

主な議案審査

平成26年度一般会計補正
予算(第6号)ほか4議案

災害復旧工事などの実施・
土地改良事業の施行

問 農地・農業用施設災害
復旧事業の箇所数や復旧の
めどは。



農地被災状況(森垣地内)

答 国庫補助災害復旧箇所
154カ所、市単独災害復
旧箇所707カ所である。
平成26年度内の完成は難し
いが、地元と調整して平成
27年度内には完成を目指し
たい。

問 農地中間管理機構の取
り組み状況は。

答 事業の単位は、基本的
に農区である。農地借受け
希望者を公募したところ応
募者は57名で、全て市内の
農業者である。機構が借受
け希望者に農地を貸す期間
は10年であるが、途中で耕
作できなくなった場合は、
機構が別の耕作者に貸付け
ることになる。

問 災害に強い森づくり事
業の間伐材の利用は。

答 3地区の工事実施箇所
で土留工の溪流部分に間伐
材を利用することも検討中
であるが確定していない。



山腹被災状況(奥榎原地内)

問 小規模治山事業の地元
住民の負担は。
答 京都府の補助率は50

%である。通常の地元負担
は40%であるが、激甚の指
定を受けた場合は15%に軽
減される。

問 林地保全事業の地区は。

答 人家裏の林地が被災し
た地区の自治会長に照会の
結果40地区であった。

問 林道災害復旧事業の箇
所数は。

答 10路線14カ所になる。
問 農家基本台帳等整備事
業の内容は。

答 システム改修によって
農地一筆ごとに情報を管理
することになる。農地の利
用状況や農地中間管理機構
との協議の項目などが追加
される。

公の施設に係る指定管理
者の指定について

問 中丹地域有害鳥獣処理
施設の指定管理者は。

答 地元自治会で管理運営
を担いたいとして新たに設
立された任意の団体だ。8
名の役員は全員、地元の方
々である。
(すべて全員賛成で可決)

文教建設

8月豪雨などの災害復旧事業と
私立幼稚園就園奨励費補助事業など

主な議案審査

平成26年度一般会計補正
予算(第6号)

河川災害57カ所、道路災害
23カ所、橋梁災害2カ所の
災害復旧事業の実施

三段池公園、伯耆丸公園、
平和公園、工業団地緩衝緑
地の法面復旧工事の実施



荒木地内河川災害

問 災害復旧事業全般の予
定は。

答 国の災害査定は12月中
に終了する予定であり、本
年度中に実施設計を終えて、
工事を発注できるように努
力していきたい。

私立幼稚園就園奨励費補
助事業の要綱改正に伴い、

私立幼稚園の入園料、保育
料を減免する対象者が増
加したことによる補正予
算を計上

問 3歳児保育が始まる公
立幼稚園と私立幼稚園の補
助事業との関連と影響はど
のようなものか。

答 国の方針は、保育所と
同様に多子世帯と低所得者
世帯に対して経費の軽減を
図っていくという方針であ
る。公立・私立を問わず、
実質の支払い額の保護者負
担格差を是正することが、
私立幼稚園就園奨励費補助
事業のポイントである。

工事請負契約の締結

都市計画道路(多保市正明
寺線)(高畑工区)橋梁上
部工工事の条件付一般競
争入札

問 橋梁の平成28年12月28
日までの工期は、当初スケ
ジュールに沿った予定とお

りのものか確認したい。

答 工期は2年間の予定で
あり、平成29年6月の供用
開始をめどにスケジュール
を組んでいる。



2橋脚の工事が同時に進む高畑工区

福知山市立体育館条例
の一部改正

地域体育館の利用日が分
かりにくいという指摘を
受け、公民館連絡会で協議
調整を行い、休館日を変更
(すべて全員賛成で可決)

請 願 の 状 況

消費税の増税に反対し中止の意見書を求める請願

請 願 者／福知山民主商工会 代表 大槻 一男氏(福知山市字堀2438-2)
福知山地方労働組合協議会 議長 奥井 正美氏(福知山市昭和新町101-3)
紹介議員／塩見卯太郎議員、足立進議員、中島英俊議員、大槻富美子議員

■目 的

国においては2017年(平成29年)4月からの消費税10%への引き上げの中止と消費税の増税に反対するよう強く要請されるよう意見書の提出を求める。

■議決結果：不採択

教育予算の増額、保護者負担の軽減を求める請願

請 願 者／福知山の子どもと教育を考える会(福知山教育ネット)
代表 夜久 弘明氏、金澤 栄子氏(福知山市北本町二区159 福天教育会館内)
紹介議員／塩見卯太郎議員、中島英俊議員、吉見純男議員、大槻富美子議員、塩見日出勝議員

■目 的

市長公約通り「教育予算10%」を確保し、教育費の保護者負担の軽減を求める。

■議決結果：不採択

先生が子どもたちに向き合う時間を確保し、教育の充実をすすめるための教職員の増員を求める請願

請 願 者／福知山の子どもと教育を考える会(福知山教育ネット)
代表 夜久 弘明氏、金澤 栄子氏(福知山市北本町二区159 福天教育会館内)
紹介議員／塩見卯太郎議員、中島英俊議員、吉見純男議員、大槻富美子議員、塩見日出勝議員

■目 的

子どもたちがゆとりをもって学べるように、また先生がゆとりを持って子どもたちに向き合えるように、すべての学校で子どもたちに直接関わる教職員を増やすよう国・府への働きかけを求める。

■議決結果：不採択

本会議を傍聴しませんか

本会議は、市役所本庁舎6階の受付で、所定の用紙に氏名を記入し、傍聴席(定員60人)において傍聴できます。

なお、団体で傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

福知山市役所来庁舎駐車場を利用される方は、90分を越えると無料駐車券を発行しますので、市議会事務局まで申し出てください。

市議会事務局 TEL24-7031

3月定例会の予定(31日間)

2月25日(水) 本会議(提案理由説明)
3月5日(木) 本会議(質疑、一般質問)
6日(金) 本会議(一般質問)
9日(月) }
 } 予算審査特別委員会
12日(木) } (所管別質疑)

3月13日(金) 予算審査特別委員会(予備日)
16日(月) 常任委員会
19日(木) 予算審査特別委員会(総括質疑)
20日(金) 予算審査特別委員会(総括質疑～採決)
26日(木) 本会議(採決)
27日(金) 会期

※この議会予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

12月定例会・1月臨時会の議決結果について

■全員賛成で可決となった議案

議第74号	平成26年度一般会計補正予算(第6号)	議第93号	公の施設に係る指定管理者の指定(新町文化センター)
議第75号	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第94号	公の施設に係る指定管理者の指定(芦田均記念館)
議第76号	平成26年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第95号	公の施設に係る指定管理者の指定(総合福祉会館)
議第77号	平成26年度病院事業会計補正予算(第2号)	議第96号	公の施設に係る指定管理者の指定(夜久野町ふれあいの里福祉センター等・夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンター)
議第78号	職員定数条例の一部改正	議第97号	公の施設に係る指定管理者の指定(大江町老人福祉センター)
議第79号	市長及び副市長並びに上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部改正	議第98号	公の施設に係る指定管理者の指定(こぶし荘)
議第80号	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	議第99号	公の施設に係る指定管理者の指定(里の駅みたけ)
議第81号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	議第100号	公の施設に係る指定管理者の指定(中丹地域有害鳥獣処理施設)
議第82号	消防団員等公務災害等補償条例の一部改正	議第101号	土地改良事業の施行
議第83号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	議第102号	専決処分の承認
議第84号	地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の制定	議第103号	新福知山市まちづくり計画(新市建設計画)の変更
議第85号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	議第104号	平成26年度一般会計補正予算(第7号)
議第86号	国民健康保険条例の一部改正	議第105号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任(藤原耕治さん)
議第87号	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	議第106号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任(吉川 忍さん)
議第88号	国民健康保険新大江病院及び有路診療所の利用料及び手数料に関する条例の廃止	議第107号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任(市場理一さん)
議第89号	市立体育館条例の一部改正	議第108号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任(中路勇喜さん)
議第90号	工事請負契約の締結	議第109号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任(安達賢治さん)
議第91号	公の施設に係る指定管理者の指定(三和荘・三和町林業者等健康増進施設・三和町運動広場・三和町川合運動広場)	議第110号	人権擁護委員の候補者の推薦(梅原美代子さん)
議第92号	公の施設に係る指定管理者の指定(大江山鬼瓦工房等及び大雲記念館等)	市会発議第5号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
		市会発議第1号	公立大学検討事業に関する決議

■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議 案		議決結果	日本共産党市会議員団					公明党市会議員団			福知山未来の会		福政会					維新福知山		希望の会				無会派	
			塩見卯太郎	足立進	大槻富美子	中島英俊	吉見純男	足立伸一	大谷洋介	吉見茂久	森下賢司	田中法男	芦田眞弘	野田勝康	和田久隆	木戸正守	谷口守俊	稲葉民俊	高宮辰郎	高橋正樹	塩見日出勝	田淵裕二	桐村一彦		谷垣和夫
請願第4号	消費税の増税に反対し中止の意見書を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第5号	教育予算の増額、保護者負担の軽減を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
請願第6号	先生が子どもたちに向き合う時間を確保し、教育の充実をすすめるための教職員の増員を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 —：棄権 ※奥藤見議員(福知山未来の会)は、議長職のため表決に加わっていません。

賛成

先生が子どもたちに向き合う時間を確保し、教育の充実をすすめるための教職員の増員を求める請願

先進国が加盟しているOECD(経済協力開発機構)32カ国の平均は、小学校21・2人、中学校23・4人の生徒数だが、日本は小学校27・9人、中学校32・6人と国際的に最も多い国となっている。教育効果は15人程度が一番といわれており、来春の福知山高等学校附属中学校は20人学級という。福知山では31人以上学級が多く、40人のクラスもある。日本の教員は世界一多忙だと文科省も認めており、教育効果が下がることは明らか。解決には教員の増加が必要。

中島英俊

賛成

教育予算の増額、保護者負担の軽減を求める請願

今、経済状況が低迷している中で、子育て世代においては労働者の賃金が上がらず、円安で物価高もあり家計支出は増加し、経済的負担が重くのしかかっている。老朽校舎の改修や教育備品の充足率向上、放課後児童クラブの施設整備と指導員の充実を図ることなど、誰もが等しく行き届いた教育が受けられることが求められている。生活困窮家庭への教育支援を拡充する事と合わせて、来年度の教育予算の増額を強く求めるものである。

足立進

賛成

消費税の増税に反対し中止の意見書を求める請願

平成26年4月から8%への増税と度重なる水害で福知山市民の暮らしと営業は本当に大変な状況である。増税はやめてほしいという切実な声を聴く。能力に応じた負担の原則を貫く税制改革を進める。大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やす経済改革で税収を増やす。このような政策転換で、消費税の増税をしなくても税収を増やし社会保障の充実をすることができるところから、請願に賛成する。

吉見純男

討論

活動報告

総務委員会

「e-ふくちやま」事業のあり方 行政視察「筑西市・習志野市・新城市」 福知山市消防団施設の視察



消防団施設の視察

活動日

7月2日
10月31日
11月18日
12月16日

「e-ふくちやま」福知山情報通信ネットワーク事業について

「e-ふくちやま」事業を閉会中の継続調査の事業に位置づけ、事業経過・現状と課題・今後の事業のあり方について協議を進めてきた。合併後の平成19年8月より運用が開始され、45億6000万円を投じ、平成23年度には、おおむね面的整備は完了した。事業開始当初は、想定されていなかった民間事業者の参入により、ここ近年は、特にブロードバンドの分野で新たな契約者の減少や、他社への乗換による解約が相次いでいる。利用者数の減少は、事業運営にも大きな影響を及ぼし、今

後も、この傾向は一層進んでいくものと予測されている。また、運用開始から10年が経過し、機器類の更新時期と重なり、このまま事業を継続していくには、多額の費用が発生することとなる。平成26年8月から検討が進められてきた「e-ふくちやま事業あり方懇談会」の意見を参考にしながら、民営化も視野に入れた見直しの時期を迎えている。

行政視察

活動日

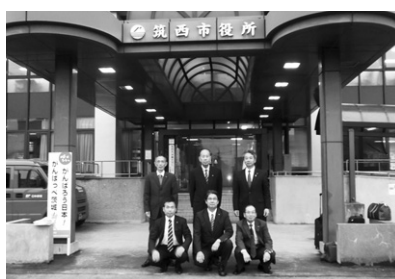
10月21日～23日

消防団活性化事業

(茨城県筑西市)

近年、過疎高齢化の進展と社会環境の変化に伴い、消防団員の減少が全国各地で大きな課題となっている。筑西市では、本市よりも早くから消防団協力事業所の認定を行って、消防団員を相当数雇用し、勤務時間の配慮、資機材の貸し出

しなど、消防団活動に積極的に協力している事業所に認定証を交付するもので、すでに7事業所が認定を受けている。このように民間の力を活用しながら消防団員の入団を促進することで、団員の減少に歯止めをかけ、少子高齢化の中にあっても地域防災体制の充実が図られている。



筑西市行政視察

公共施設マネジメント

(千葉県習志野市)

習志野市は、公共施設マネジメントを重要な行政改革の一環に位置づけ、早い段階から取り組まれてきた。平成21年、公共施設の実態をまとめた公共施設マネジメント白書

を公表。その後市民への説明の場を50回以上設け、市民と情報を共有し、平成22年に外部有識者による専門協議会から市に公共施設再生計画策定の提言書が提出された。その後、資産管理体制の強化を図るため、技術職員を中心とした施設再生部署を立ち上げ、より専門性の高い体制のもとで業務が進められ、平成25年度末に公共施設再生計画が策定された。

自治基本条例

(愛知県新城市)

平成22年度から自治基本条例を考える市民の会が発足し、その後、公募による市民検討会議での検討を経て、自治基本条例(案)が作成され、平成24年12月定例会で条例が成立した。条例では、年1回のまちづくり集会の開催や、住民投票の実施について明記されており、他市ではみられないオリジナル性の高い内容となっている。

管内視察

活動日

11月22日

消防団施設の視察

市街地・周辺地域の消防団の車庫・詰所などを視察し、その後、防災センターで意見交換を行った。福知山市消防団は、現在29分団、団員1927名。詰所・車庫は99カ所、車両101台が配備されているが、団員構成や施設の整備状況は、地域でばらつきがみられる。今後、地域の実情に即した消防団の再編と設備の整備を計画的に進め、より機動性の高い消防団活動につなげていく必要がある。



消防防災センターでの意見交換

委員会

市民厚生委員会



KTR「あおまつ」車両

「地域医療のあり方」についての講演
国保新大江病院や災害復旧状況を視察

活動日 11月11日

議員研修会「福知山市におけるこれからの地域医療」

市民病院香川病院長の講演を聞き、講演終了後、救命救急棟の視察を行った。

主な講演内容

◆最近10年でマンパワー、医療を支える地域力、チームワークなどが向上し病院が経営的にもよくなっている。

◆常勤医師は平成20年46人が平成26年65人に。また、職員数は平成17年370人が平成26年645人に。

◆本年4月から在宅ケア（家庭医療）チームをスタートさせた。



香川病院長の講演風景

◆市全体でも禁煙、減塩などの疾病予防の取り組みを進める。

国保新大江病院の分院化

◆国保新大江病院を平成27年4月から市民病院の分院とする。一般病床と療養型病床があり、在宅復帰機能を強化したい。

◆医師は5人体制とし、リハビリ機能も強化したい。また、総合診療医を育成する。

◆在宅医療チームを編成し、1日8人を目安に訪問診療を行い、在宅医療の拠点としたい。



完成した救命救急センター

管内視察

活動日 11月13日

国保新大江病院を視察

市民病院の分院化にあたり施設の現況、経営状況などを視察した。

◆現在常勤医師3人、非常勤医師4人。看護師21人、准看護師12人。病床数72床。

◆医師確保が困難となり平成19年度から赤字経営が続き、地域医療を守るために「公設公営を求めるとの要望書」が平成25年6月、市長に提出され分院化の方向となった。

◆9月に電子カルテの契約を終え年内に設置予定。病院改修は平成27年度に繰越となるが、病院は稼働させながら工事を進める予定。

KTRあおまつ、まちなか循環路線バスにも乗車し利用状況など視察

KTRの再構築について北近畿タンゴ鉄道（KTR）は平成25年度は8

億9000万円の赤字となり経営改善が急務となっている。

上下分離方式による再構築を行い、運行部分をウィラートレイン株式会社が運営し、平成27年4月スタートとなる。基盤部分はKTRが持ち、自治体が補助することになる。



KTR「あおまつ」に乗車

活動日 11月19日

平成26年8月豪雨による災害復旧状況を視察

堀児童館、人権ふれあいセンター堀会館、下六人部保育園、くりのみ園、環境パークを視察した。

堀児童館

玄関の水位が、1m85cmに達し被害が大きかった。2月末、改修を終え

災害状況を聞く（堀会館）



る予定。

下六人部保育園

園舎への土砂の流入があった。災害後170名の園児の内133名の自由登園があったが、給食室も被害を受けたのでパンとジュースの給食とした。畳は取り替えられたが、保育室の床がめくれきてきている。

環境パーク

災害ごみ搬入量／5147t（10月27日現在）

（平成16年台風16号時は9300t、平成25年台風18号時は3952t）

○家電4品目の搬入状況

テレビ	1749台
洗濯機	491台
エアコン	95台
冷蔵庫	1298台

（9月11日現在）

経済委員会

行政視察「津山市・周南市・山口市」 有害鳥獣対策強化に関する要望書を 京都府へ提出



中丹広域振興局長への要望

行政視察

活動日
10月22日～24日

つやま新産業
創出機構による
産業振興策
について
(岡山県津山市)

津山市の地域
資源を生かした
リーディング産
業は、ステレン
ス産業と小麦の
産地づくりによ

る食糧産業である。企業
誘致や景気動向に頼らず
自立的な経済確立のため、
他地域と差別化した地域
の産業構造独自の強みを
見出して振興策を意欲的
に打ち出している。半官
半民の体制で行政とは異
なる「選択と集中」の方
式が一定の成果に結びつ
いている。地域資源を生
かした持続的な産業創出
は、福知山市においても
取り組むべき重要課題で
ある。自然資源や社会資
源に宝を発見し、活用に
知恵を絞る意欲的な職員

の配置、民間との連携体
制、「選択と集中」の予算
措置などがポイントにな
る。



津山市行政視察項目質疑時の様子

中心市街地活性化事業 について (山口県周南市)

周南市は、徳山駅を中
心に戦後、間もない時点
で区画整理事業が行われ
集約的都市構造が形成さ
れている。6つの商店街、
官公庁、ビジネス街がコ
ンパクトに集約している。
しかし、全国どこでも
見られるように、大型店
舗の進出による小売店舗
の閉店、さらに大型店の
撤退による営業店舗の減



周南市行政視察項目説明時の様子

少、高齢化、空洞化が進
んでいる。旧中心市街地
活性化計画は実行の進捗
率は低く、目に見えた成
果が上がらなかった。新
計画は選択と集中により
多面的な都市機能を活用
し、人を呼び込む空間を
創出し、点から面へ展開
する回遊性をもたせると
している。300m四方
の中にコンパクトに都市
機能が収まり活性化事業
は比較的やり易い印象で
あった。しかし、商店街
の人々との連携、活性化
事業の推進の担い手の体
制づくりなどが課題であ
るとのことであった。

中山間地域活性化推進 事業について (山口県山口市)

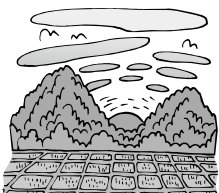
山口市は1市5町の合
併により、中山間地が広
くなった。中山間地活性
化の方向性は定住人口の
増加と交流人口の創出で
ある。空き家バンク、地
域おこし協力隊、長州援
農隊の「三本の矢」によ
る山口市農村定住の仕組
みづくりを推進している。
新規就農者や農業生産法
人、農業法人、団体への
補助は主に農業機械器具
の整備、導入であり、空
き家改修補助は住宅の水
周りなどが中心である。
中山間地を悩ます有害鳥
獣被害はイノシシによる
場合が多く、シカは非常
に少ない。しかし、近く
の下関市ではシカ被害が
多くなっている。地域お
こし協力隊が定着すれば、
福知山市においても農村
地域活性化の戦力になる
と期待される。人数が増
えれば、協力隊員相互間
の横の交流も推進される。

要望活動

活動日
11月27日

有害鳥獣対策強化に関
する要望書の提出

中丹広域振興局福知山
総合庁舎において、要望
書を金谷局長へ提出した。
要望内容である①中丹
地域有害鳥獣処理施設の
管理運営にかかる財政支
援②有害鳥獣捕獲対策の
強化③有害鳥獣防除対策
にかかる財政支援など④
有害鳥獣捕獲にかかる捕
獲従事者等の育成、確保
⑤鳥獣被害防止特別措置
法の期限延長⑥ツキノワ
グマの個体数管理と人命
優先かつ迅速な対応につ
いての6項目に関する要
望活動により、関係予算
確保などの重要性が確認
でき、所期の目的を十二
分に達成した。



文教建設委員会

管内視察と所管課状況説明

・学校給食センターの運営・いじめ防止などの取り組み・主要道路などの整備状況・8月豪雨災害による道路・河川の被害状況

活動日

11月26日

学校給食センターの運営状況および、8月豪雨災害による給食停止の影響と災害への危機管理態勢について

新学校給食センターでの給食は、小学校が平成25年4月15日、中学校は同じく4月30日から始まっており、現在、旧福知山市内と旧三和町内の18小学校と7中学校に、1日あたり約6600食を供給している。

印内地区8月豪雨災害現場の視察

8月豪雨災害では、建物本体は浸水したものの、調理場については、トラック配達の積み下ろしに合わせて床面を高くしてあり浸水は免れた。しかし、同じ敷地内にある配送車の車庫が浸水し、配送車10台が故障したため、小学校は10月3日まで、中学校は10月16



給食調理現場の視察

日まで給食停止を余儀なくされた。

業務の実施方法は民間委託方式を採用していることから、委託事業者による食中毒防止や異物混入防止に向けての各種基準の遵守、衛生講習会の開催、調理打ち合わせ会議や日々の各種報告・連絡体制を市の管理者から説明を受けた。

また、30分という短い昼食時間内でのあたたかい中学校の配膳作業の現状を聴取し、課題を再認識した。
災害時の避難管理体制

では、8月豪雨を教訓に浸水が予想される場合は、あらかじめ配送車を高台に避難させる連絡指示系統を策定しているとの説明を受けた。

いじめの実態把握を行うことにより、早期発見、早期対応、未然防止に努めていると説明があった。また、学校では2者面談などを随時実施し、児童生徒の悩みなどを把握、早期解決に努めているとの報告を受けた。

活動日

11月26日

教育委員会のいじめ防止などの取り組みについて

府内の全公立小・中学校の児童生徒を対象に、いじめのアンケート調査を、年3回実施しており、1段階・「いやな思いをした」と感じたものの、2段階・1段階の中で、組織的・継続的に指導や経過観察の必要があるもの。

3段階・2段階の中で児童生徒の生命または身体が安全が脅かされるような重大な事態に至る恐れがあると考えられるもの。
以上3段階で集計し、

全国的にネットトラブルが社会問題化している実情があり、学校・家庭の対策について意見交換を行った。

また、平成25年9月28日に施行されたいじめ防止対策推進法に基づき、現在「福知山市いじめ防止基本方針(案)」を策定中であるとの説明があった。

活動日

11月27日

8月豪雨災害による道路・河川の被害状況と現在施工中の主要道路の整備状況についての現場視察

災害発生から査定までの災害復旧事業の基本原則についての説明を受けた後、現場視察を行った。

まず、災害復旧事業とは、国庫負担法によるもので、原形復旧が原則となり、通常は国費で3分の2を補助する。また、激甚災害指定を受けると補助率が上乗せされる。ただし、1カ所の工事費用が60万円未満の小規模被害や幅が2m未満の道路などは適用除外となることの説明を受けた。

国庫補助申請にかかる査定までの手順とプロセスについても詳細な説明をうけ、通常は被害発生から査定まで2カ月程度かかるが、その期間を短縮する安全性の確保のために施工する応急仮工事という手法があることなど、災害査定の実情について見識を新たにしました。

あわせて、現在整備が進む、広域交通網整備促進事業の市道西町市寺線(夕陽が丘地区)の現場視察を行った。

由良川改修促進特別委員会

8月豪雨災害を受けて
国交省近畿地方整備局・府への要望

由良川改修促進特別委員会正副委員長ならびに正副議長による要望活動を実施し、山下晃正府副知事、笠井雅広国交省近畿地方整備局河川調査官に早期の災害復旧とさらなる支援を要望した。

要望内容

①内水排除対策の根本的な増強対策の実施
②「由良川緊急治水対策事業」の早期着手

③「由良川下流部緊急水防対策」の確実な年度内完成
④興・観音寺、戸田、前田、私市、川北の堤防整備
⑤的確な避難などのための基礎情報の収集・提供体制の拡充
⑥由良川中・下流部の樹木伐採や堆積土砂の浚渫の実施
⑦治水事業を推進するための公共用地などの取得促進に寄与する税制度の拡充

活動日
10月21日



大江町北有路地内現場の視察



山下府副知事への要望

活動日
11月25日

築堤整備箇所現場視察

由良川改修促進特別委員会全委員による由良川中・下流部築堤整備箇所（私市・南有路・北有路・河守・公庄）の現場視察を行った。



大江町南有路地内現場の視察

委員から、相長川の整備区域の範囲、築堤整備の進捗状況（私市地区）、宮の奥川の整備内容と工期、用地交渉の進捗状況（公庄地区）など多くの質疑があり、市担当部署より詳細の説明を受けた。現場視察を行うことにより築堤の整備内容・整備計画の理解をさらに深

める事ができた。

今回の視察では、築堤整備だけでなく一部、輪中堤整備箇所も視察、由良川関係の整備が着々と進められていることが確認でき、大変有意義な現場視察となった。

活動日
11月7日

近畿地方治水大会に参加

大阪のエル・おおさかで近畿地方治水大会が開催され、国交省および近畿2府6県の治水事業に関係する部署から400名の参加があった。福知山市からは、由良川改修促進特別委員長と、都市整備課職員が出席した。

会議で、守口市の西端市長による『命と都市を守る治水対策について』の題名で意見発表が行われ、

近畿地方治水大会の様子



現在、守口市が取り組まれている治水対策事例が紹介された。寝屋川流域の過去の水害を教訓にした治水対策として河川改修・地下河川・遊水池・調整池などを詳しく説明され、大変参考となった。

第6回

議会報告会

報告の概要

今回の議会報告会は当初8月9、10日に予定をしていたが、台風接近により延期していた。

その後、豪雨災害により本市が甚大な被害を受けたこともあり、日程を大幅に変更しての開催となった。

9月定例会

当初提案の一般会計補正予算、追加提案された災害関連の補正予算や条例制定・改正、物品の取得、工事請負契約の締結などの審査状況について。

決算審査特別委員会

平成25年度決算概要および決算審査特別委員会の意義・目的について。

議員報酬・議員定数など

議会基本条例にもとづき、

議員自らで設置した議員報酬等検討委員会における検討結果やその過程、考え方などについて。

第6回議会報告会を、平成26年11月28日および29日の2日間、市民交流プラザふくちやまで開催した。

9月定例会、決算審査特別委員会の概要報告と議員報酬・定数など検討結果の報告を行った。

その後、報告に対する質疑や参加いただいた方と意見交換を行った。

2日間で35名の方に参加していただいた。

○議員報酬(現状どおり)

月額41万円

○政務活動費(現状どおり)

年額18万円

○議員定数(現状どおり)

26名



たくさんのご意見をいただきました

いただいたご意見

【財政関係について】

●市債(借金)が1000億円を切ったことは喜ばしいが、将来、人口減少や地方交付税の減額が予想され、市の財政は大丈夫か。

【災害関係について】

●9月定例会の一般質問での市の回答は治水協議会で対応することとなる。新聞では短期におおむね5年で

行うとある。長い、もっと早急に。

●洪水マップを作成してほしい。

●堀と土師の貯留槽の工事が遅い。

●和久市のポンプが故障により7時間も稼働しなかったと聞くが。

●ポンプが整備されても由良川が増水すれば稼働しないと聞いた。上流に貯留施設を造ってほしい。

●避難勧告が遅かった、何の不備だったのか。

●防災無線では聞こえない。

●8月豪雨のような災害が今後も心配だ、何か対策は。

●床下浸水はやむなしというのであれば今のところに住めない、よそへ引っ越す際の補助を考えてほしい。

【4年制大学について】

●公立化ありきのような機運があるが、議会の考えは。

●この様に至った事について議会の責任は。

●学生が集まらないのは、アルバイト先が少ないなどの生活環境に不安があるのも理由ではないか。

【議員報酬等について】

●比較の対象の単位が統一されていない。

●なぜ、北上市や天草市などを対象としたのか。

●議員報酬などについてのアンケートが少ないが。

●アンケートの回収率が低いのは、回答が反映しないの思いからである。

●議会改革の全国ランキングが上がったことは評価するが、政務活動費を使っているが、政務活動費が市政の視察・研修の成果が市政に十分に生かされていないのでは。

【その他】

●土地開発公社の解散について現状は。

●自治会長報酬のあり方に関して、市からの委託内容



議会報告会の様子

を精査し自治会長本来の業務に専念すべきでは。

●自治会長報酬のあり方や、議員の報酬・定数については今後も包括的に取り組まれない。

●はじめのあいさつに「議会活動が市民に理解されにくい現状の改善」のための議会報告会とあるが、改善についての報告・提案がなかったことが残念。

2日間とも、活発なご意見をお伺いすることができました。ご協力いただきました。ありがとうございます。

出されたご要望、ご意見を今後の議会活動に反映させるとともに、ご要望の実現に努めてまいります。

「元気やで福知山」

No.14

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：塩見 日出勝議員・大槻 富美子議員



「地元だけでは棚田は守れない」とソフト事業

建設を行いました。

平成9年ごろから毛原地区の田畑を高齢化が進む中、どう守って行くのか集落で話し合いました。圃場整備の話はもとまらず、地域に合った形で農業基盤づくりを進めようと「水と土、保全モデル事業」に取り組みました。農道整備、水車小屋の復元、駐車場、東屋の建設を行いました。

棚田体験ツアーを始めたきっかけは？

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人に、取材先を募集し、議員が訪問します。

「日本の棚田百選」

大江町毛原の棚田を守る実行委員会を訪問しました！



で都会の人々に田植えや稲刈りなど体験をしてもらうことにしました。緑と伝説の

みて第1回から参加された川瀬さん。「そこで飲んだ酒もにぎりめしも本当にうまかった。この米がこの酒に化けるのか」と棚田のオーナーとなられました。

（時には都会のネオンが恋しい時も…）現在はブルーベリー農園の経営やどぶろくの生産もされ、地域になくてはならない存在です。ツアーを通じて4組の方が移住し、今は2組が定住されています。

体験ツアーから『体感』ツアーに

平成24年から農村そのものを感じてもらおうと

村が元気に定住者もできた

『あなたの作ったお米で、おいしいお酒を作りませんか』という新聞を

「毛原の棚田『体感』ツアー」と呼び名を変えたことで企画も多様化しました。棚田の写真コンクール、畦道

村を守る

コンサート、棚田の写生会を企画して村のあちこちにその絵が飾られるなど。

棚田13枚(40a)のオーナーを募集。公民館にシヤワーを設置し寝泊りもできるようにされています。

多くの方に毛原の田舎を体感し、そして村を支えるために力を貸してほしいと話されました。

実行委員の桜井一好さん、水口清司さん、川瀬保さん、大槻博路さんに対応いただきました。



編集後記

福知山市議会は、議会改革を精力的に進めています。昨年は、改革度の順位が大幅にアップし、全国議会の中で上位となりました。取り組みの成果が着実に表れてきていると自負しています。

今年の干支はヒツジであり、漢字では「未」という字が当てられています。広辞苑で引いたところ「未」という字の意味は、「まだ、事が終了していない事」というようにも書かれています。

干支を通して、事が終了していない点を心に置き、まだまだこれから、今以上に邁進していく年にしなければならぬというようにも受け止めています。

その意味で本年は、さらに議会改革を一步一步着実に進め、その中で広報広聴委員会の役割を果たすため、まだまだこれからとの思いで一層、努力していきます。

（広報広聴委員会）